

【警告】

眼科用機器なので医師又は法的有資格者がご使用ください。
保守管理責任者を決め、機器を安全かつ良好な状態に維持管理してください。

【禁忌・禁止／併用禁忌】

本製品は、当社指定スリットランプ以外に使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】**

1. 概要

本器は細隙灯顕微鏡の特別付属品として考案されたゴールドマン圧平式眼圧計で、圧平子を角膜に押し当てて一定の圧平面積が得られる力を計り、眼圧に換算し、圧平状態を光学的に測定する。

型式 取付対応細隙灯顕微鏡

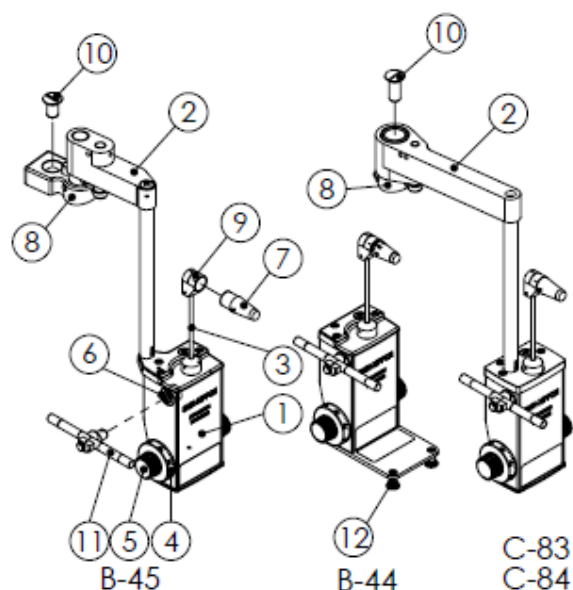
B-44 スリットランプ SL-102/203/500, SL-102L/203L/500L, RS-5000

B-45 スリットランプ SL-102/203/500, SL-102L/203L/500L

RS-500/5000, SL-95

C-83 スリットランプ SL-50

C-84 スリットランプ SL-45/55, RS-300



2. 瞳に接触する部分の組成

測定プリズム: メタクリル樹脂

3. 寸法及び質量

B-44	84(W) * 79(D) * 184(H)mm	440g
B-45	84(W) * 146.4(D) * 249(H)mm	650g
C-83	84(W) * 142(D) * 239.5(H)mm	660g
C-84	84(W) * 142(D) * 241(H)mm	660g
測定プリズム	30mm(長さ)、Φ7.2mm(圧平面直径)	1.65g

4. 作動原理

・本器はゴールドマン圧平眼圧計方式を採用しており、スリットランプに取り付けて精密な眼圧値を得られるように設計されています。

・角膜面を直径 3.06mm の円に圧平するのに必要な圧力を求めるように設計されています。

・角膜が 1g の力で直径 3.06mm の円に圧平されたとき、測定目盛は 1 を示します。この測定値に 10 を掛けると、mmHg 単位で眼内圧を求めることができます。

$$\frac{1g}{\left(\frac{0.306cm}{2}\right)^2 \pi * 1.36} = 10mmHg$$

【使用目的又は効果】

眼球内の圧力を眼球壁の緊張度に基づいて角膜を介して測定し、情報を診断のために提供すること。

【品目仕様】

(1)最小目盛: 2mmHg

(2)測定範囲: 0～80mmHg

(3)眼圧測定値: 公称値±1.5%又は±0.5mmHg のいずれか大きい値
測定プリズム

(1)質量: 1.65g

(2)材質: メタクリル樹脂

(3)圧平面の直径: 7.2mm

(4)圧平円の直径: 3.06mm

【使用方法等】

1. 検査者の準備

- (1) 取扱説明書を熟読し、使用上の注意事項を理解する。
- (2) 測定プリズム“7”の表面に埃、塵等がなく清掃、消毒されていることを確認する。
- (3) スリットランプの動作に異常がないことを確認する。

2. 使用前の準備

- (1) スリットランプへの取付方法
 - 1) B-45/C-83/C-84 の場合は、スリットランプ本体の顕微鏡部上部に、取付台“8”をトノメーター取付ボルト“10”にて強固に取り付け、取付台“8”にアーム“2”を挿入し、取付台“8”中央の V 溝に保持させてあることを確認する。
 - 2) B-44 の場合は、スリットランプのガイドプレートの上に載せ、止め“12”で固定位置にセットする。

(2) トノメーターの準備

- 1) プリズムホルダー“9”に消毒された測定プリズム“7”を正しく取り付け
る。
- 2) 角膜乱視が無い場合は、測定プリズム“7”の 0° 、 180° をプリズムホ
ルダー“9”の水平目盛線(白線)に合わせる。
- 3) 強い角膜乱視(3D 以上)の場合は、乱視の弱主経線の確度に相当す
る測定プリズム“7”の目盛をプリズムホルダー“9”の水平から 43° 傾い
ている線(赤線)に合わせる。
- 4) トノメーターが顕微鏡の前にセットされていることを確認し、プリズムホ
ルダー“9”を回転させて測定プリズム“7”が正しく被検者側にむくよう
にする。
- 5) ツマミ“5”を回し、目盛棒“4”を1にしておく。

(3) スリットランプの準備

- 1) 顕微鏡の倍率を 10 倍に合わせる。
- 2) 接眼レンズの視度調節が正しく行われていることを確認する。
- 3) B-45/C-83/C-84 の場合は、像が鮮明で反射が少ない位置にスリッ
トランプの照明装置をスイングする。
- 4) B-44 の場合は、顕微鏡の軸より約 60° 横から測定プリズム“7”の側面
が照明される位置にスリットランプの照明装置をスイングする。
- 5) コバルトブルーフィルターを挿入してスリット幅を全開にし、照明を最も
明るくする。

3.使用中の操作

- (1) 被検者の目に麻酔剤を点眼し、次いでフルオレセインを点眼する。
- (2) 被検者をスリットランプの顎台に固定し、前方を注視させる。
- (3) 眼瞼や眼球の位置を確認しながらスリットランプのジョイスティックレバ
ーを注意深く動かし、測定プリズム“7”を角膜中央部分に接触させて、
左側の接眼レンズから観察する。
- (4) 顕微鏡からの像が図 a のようになり、ツマミ“5”をゆっくり回して加圧力
を増加させることにより視野内の半円弧像が互いに近づき、ふれたり
(図 b)、重なったり(図 c)することを確認する。



- (5) ツマミ“5”を動かし、左上半円弧像の内側縁が右下半円弧像の内側縁
に一致した所でツマミ“5”を止め、静かにスリットランプ全体を角膜より
離す。
- (6) このときの目盛棒“4”からの読取値を 10 倍すると眼圧値(mmHg)になる。

4.使用後

- (1) トノメーターから測定プリズムを“7”を取り外す。
- (2) B-45/C-83/C-84 の場合は、トノメーターを右側(又は左側)へスイング
させ保持する。
- (3) B-44 の場合は、スリットランプからトノメーターを取り外す。
- (4) 測定プリズム“7”の消毒
 - 1) 測定プリズムに付着したフルオレセイン等を流水で約 1 分程度洗い流
し、きれいにする。
 - 2) 0.5%グルコン酸クロルヘキシジンを含有したヒビテンアルコール等の消
毒液に約 10 分間浸漬させる。測定プリズム“7”は消毒液の中で浮いて
しまい、浸漬していない部分は消毒されないので時々攪拌する。消毒
薬の取扱い、医薬品の取扱説明書に従うこと。
 - 3) 清潔な水で消毒薬を洗い流す。約 10 分から 20 分程度推奨。

- 4) 清潔で乾いた柔らかい布もしくは紙等で水分を拭き取る。

- 5) 埃、塵等がかからないよう、清潔な保管箱等に保存する。

注意:オートクレーブ、煮沸、高濃度なアルコールによる消毒は、測定プリ
ズム損傷の原因になるので行わないこと。

(5) トノメーター本体、その他の清掃

清掃の際には、プラスチック部品や塗装部品への有機溶剤(シンナー、
エーテル、アルコール等)の使用は避け、消毒用アルコールで十分に
清拭 2 度拭きする。

【使用上の注意】

- (1) 使用する前に必ず取扱説明書の内容を理解すること。
- (2) 熟練したもの以外は本器を使用しないこと。
- (3) 測定プリズムの先端部分は直接触れないこと。
- (4) 必ず、消毒済みの測定プリズムを使うこと。
- (5) 測定プリズムは、JIS T7312:2005 に準拠したものを使用すること。
- (6) 本器が故障したとき、または異常が生じたときには、直ちに、販売店に
連絡すること。

【保管方法及び使用期間等】

- | | | |
|----------|------------------------|--------------------|
| (1) 保管条件 | 温度: $0\sim 40^{\circ}$ | 湿度: $20\sim 85\%$ |
| (2) 耐用年数 | 7 年間(自己認証データによる) | (但し、消耗品の測定プリズムは除く) |

【保守・点検に係わる事項】

- (1) 使用者による保守点検
 - 1) 眼圧測定値の精度確認
ウェイトメジャー“11”を取り付けて、校正点 0, 20, 60mmHg での測定値
を確認する。値が正常でない場合、販売業者に連絡し、点検修理を依
頼する。
詳細については取扱説明書“10.点検要領”を参照すること。
 - 2) 測定プリズムの着脱
プリズムホルダー“9”に測定プリズム“7”を取り付ける際、固定位置が
動かないか確認する。
詳細については取扱説明書“10.点検要領”を参照すること。
- (2) 業者による保守点検
業者による保守点検においても、上記“(1)使用者による保守点検”と
同様の内容で確認する。

【包装】

1 台単位で包装

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者

名称 株式会社オーヒラ

住所 〒949-7135

新潟県南魚沼市新堀新田 629-961

電話 025-775-3891

FAX 025-775-3890

緊急連絡先電話番号

025-775-3891

【販売業者の氏名又は名称及び住所】*

名称 株式会社レクザム

アイケア機器営業部 東京オフィス

住所 〒101-0048

東京都千代田区神田司町 2-4-2

電話 03-6262-9471

FAX 03-6262-9472